

かわさき区の宝物シート

宝物No.
10-8

かなまらまつり
かなまら祭

エリア	大師地区	シーズン	春
	大師周辺	日時	4月の第1日曜日

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input checked="" type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input checked="" type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



写真提供：若宮八幡宮

所在地	川崎区大師駅前2-13-16
問い合わせ	若宮八幡宮
TEL	044-222-3206
FAX	044-233-3060
E-mail	
URL	http://tomuraya.co.jp/wakamiya.htm (e-大師ネット／若宮八幡宮)
交通	京急大師線川崎大師駅より徒歩1分



基礎情報

■4月の第1日曜日に開催される金山神社のお祭り。男根をかたどった3基の神輿がかつぎ出される。子授けや縁結び、現在ではエイズ除けの祭りとしても有名で、外国人観光客も大勢訪れる。

由来・エピソード

■元々金山神社は鍛冶の神様を祀る神社であったが、江戸時代に川崎宿の飯盛女（遊女）たちの病除けに端を発し、かなまら祭りが行われるようになったという。春になると草木が芽を出して再生することから、自分たちの体の再生を願って飯盛女たちが地面にゴザを敷いて下半身の病除けを祈願した。
■海外の様々なメディアで取り上げられたこともあり、「かなまら祭」のおおらかでひらかれた雰囲気から、外国人にも人気があり「うたまろフェスティバル」として大師の風物詩となっている。

補足・その他

■当日行列に参加希望の方は11時頃までに受付をすると衣装を貸してもらえます。
■老若男女、日本人外国人みんなが楽しめるお祭り。

関連シート

(10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室
(10-5)金山神社・金山神社郷土資料室